

MANUFACTURING × IFS CLOUD

IFS Cloud による製造原価の リアルタイム可視化と利益率の見える化

— 正確な原価管理を、経営の武器に。

01 REAL-TIME

現場データを即時に
原価へ反映

02 VISIBILITY

製品別・工場別の
利益率を可視化

03 DECISION

データドリブンな
経営判断を支援

導入の背景

製造業において、原価管理は経営の根幹を支える要素です。

しかし、多くの企業が直面している現実には極めて厳しいものです。

レガシーシステムでは**原価情報が各部門に分断**され、統合された視点での把握が困難でした。さらに、**月次締め後でしか数字が見えない**ため、市場変化への迅速な対応や戦略的な経営判断を妨げています。

この状況では、競争力のある価格設定や収益性の向上を実現することは極めて困難であり、DX時代の競争環境から取り残されるリスクを抱えています。

THE VISIBILITY GAP

月次締めまで、経営は“暗闇”を走る



- 日々の変動は現場でしか見えず、経営には届かない
- 数字が見える頃には、既に手遅れ

導入前の課題

多くの製造業が抱える、原価管理における4つの構造的な課題



ISSUE 01

勘と経験に依存した意思決定

在庫管理や品質管理において、データに基づいた意思決定ではなく、長年の勘や経験に頼った運用が続いています。

△ 属人化・技術継承の断絶リスク



ISSUE 02

手作業・紙業務による非効率

請求書処理や受注業務の多くが手作業で行われ、ペーパーワークによる非効率な業務フローが常態化しています。

△ 入力ミス・処理遅延・コスト超過



ISSUE 03

不明確な製品別収益性

製品ごとの正確な原価や利益率が把握できず、どの製品が利益を生み出しているかが不明確です。

△ 赤字製品の温存・戦略の不透明化



ISSUE 04

意思決定の遅れ

経営判断に必要な情報の取得に時間がかかり、営業戦略の立案や市場対応が後手に回る状況が続いています。

△ 機会損失・競争力の低下

IFS のソリューション

IFS Cloud は、製造現場で発生するデータをリアルタイムに原価へ反映する革新的なソリューションです。
標準原価と実際原価の差異を即座に把握し、継続的な改善サイクルを加速させます。

01



リアルタイム反映

作業時間、材料費、間接費を現場データから即時に原価へ反映し、常に最新の原価情報を提供します。

IoT / MES 連携・実績自動収集・差異ダッシュボード

02



多次元分析

製番別、工場別、製品別など、様々な切り口での詳細な原価分析を可能にします。

ドリルダウン・セグメント別損益・ABC分析

03



最適化計画

MRP機能により、需要予測に基づいた最適な生産計画と調達計画を自動生成します。

需要予測・MRP・調達最適化

データが原価に変わる仕組み

現場の実績データが、経営の意思決定に到達するまでのフロー

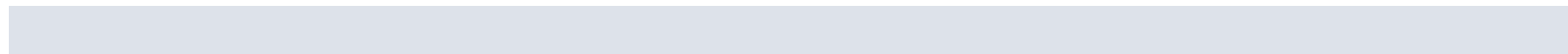
DATA FLOW



LATENCY COMPARISON

数字が届くまでの時間が、意思決定を変える

従来システム



30日以上

IFS Cloud 導入後



リアルタイム

現場・基幹・分析・可視化・判断を一気通貫で結合。「見えなかった原価」が、経営の即時判断材料へと変わります。

導入効果

IFS Cloud 導入後、経営・現場・製品ラインナップの3方向で価値を創出



EFFECT 01

不採算製品の特定

正確な原価情報により不採算製品を即座に特定し、販売戦略の見直しや製品ラインアップの最適化を実現します。

赤字製品発見までの期間

数ヶ月→**即日**



EFFECT 02

利益率の見える化

製品別、顧客別の利益率をリアルタイムで把握し、経営資源を高収益分野に集中配分できます。

利益率把握のリードタイム

月次→**日次・時間単位**



EFFECT 03

業務プロセス改革

ペーパーレス化と自動化により業務効率が大幅に向上し、従業員はより付加価値の高い業務に専念できます。

定型業務の自動化領域

紙・手作業→**自動化**

数字で見る改善効果

IFS Cloud 導入企業の一般的なKPI改善レンジ（イメージ値）

KPI 01

30%

月次締め工数を削減

データ連携の自動化により、月次締めに要していた工数を大幅短縮

KPI 02

+5_{pt}

製品別利益率の改善

赤字製品の早期発見と価格見直しにより、平均利益率が向上

KPI 03

▲ 15%

在庫回転日数を短縮

MRP最適化により、過剰在庫と欠品リスクを同時に低減

KPI 04

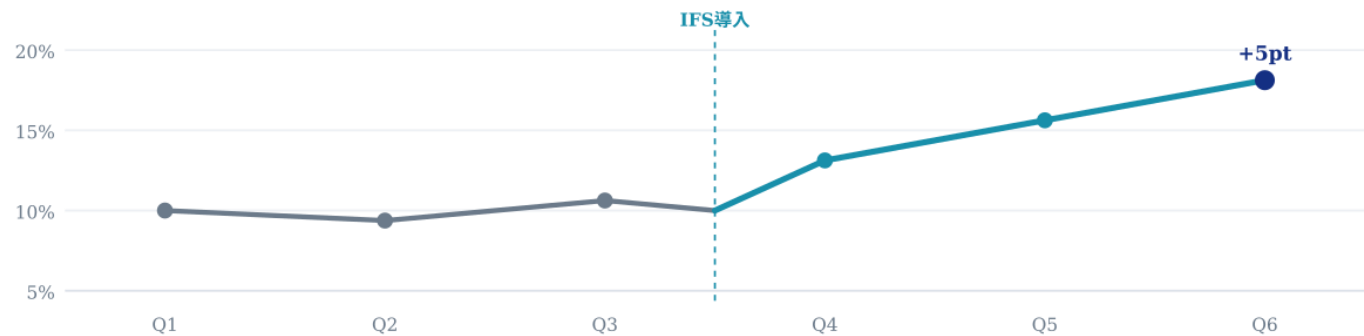
50% ↑

意思決定リードタイム

数字が届くまでの遅延を解消し、市場対応スピードが飛躍的に向上

PROFIT MARGIN TREND (BEFORE / AFTER)

導入前後の利益率推移イメージ



BEHIND THE NUMBERS

改善が起きる理由

- 01 標準原価と実際原価の差異が即時に把握できる
- 02 赤字製品を早期発見し、価格・仕様を見直せる
- 03 MRP最適化で在庫・調達の無駄を削減できる

お客様の声

IFS Cloud を導入いただいた製造業のお客様から、経営・現場それぞれの視点で

“

製品別利益率が即座に確認できるようになり、販売戦略が大きく変わりました。

収益性の低い製品から高収益製品へのリソースシフトを迅速に実行でき、全社的な収益改善につながっています。



製造業 A 社 CFO

精密機器製造・従業員 1,200名 規模

“

原価差異をリアルタイムで把握できるようになったことで、現場改善の具体的な方向性が明確になりました。

無駄な工程の排除や効率化ポイントが一目瞭然で、改善活動の効果も即座に数値で確認できます。



製造業 B 社 工場長

産業機械製造・複数拠点展開

業種別ユースケース

業種特性に応じた原価管理の適用パターン



USE CASE 01

ディスクリート製造

— 精密機器 / 自動車部品 / 産業機械

製番別原価管理で、案件ごとの採算性を即時に把握。標準原価との差異分析で改善対象を可視化。

KEY VALUE

- 製番単位の実際原価把握
- 設計変更の原価影響シミュレーション
- 見積精度向上と受注採算の担保



USE CASE 02

プロセス製造

— 化学 / 食品 / 素材

バッチ別・工程別原価を可視化。原料価格変動を即座に反映し、収益性を安定化。

KEY VALUE

- バッチ実際原価の即時把握
- 歩留まり・副産物の原価配賦
- 原料市況を反映した価格戦略



USE CASE 03

受注生産・EPC

— 産業設備 / 建設機械 / プラント

プロジェクト単位で予算・実績を管理。長期案件の進捗と収益を透明化。

KEY VALUE

- プロジェクト別予算管理
- 工程進捗と原価消化率の連動
- 採算悪化案件の早期アラート

まとめと次のステップ

リアルタイム原価管理は、もはや経理部門での数字の把握に留まりません。**データドリブンな経営判断の武器**として、企業の競争力向上と持続的成長を支える基盤となります。



VALUE 01

戦略的な価格設定による収益最大化

高精度な原価データに基づき、市場状況に応じた最適な価格設定が可能となり、収益性を飛躍的に向上させます。



VALUE 02

市場変化への迅速な対応力強化

リアルタイムで原価変動を把握することで、市場の急激な変化にも即座に対応し、ビジネスの機会損失を防ぎます。



VALUE 03

データに基づいた製品ポートフォリオ最適化

製品ごとの正確な収益性を可視化し、採算性の低い製品からの撤退や、成長が見込める製品への投資判断を支援します。



VALUE 04

競合他社との差別化要因の創出

効率的な原価管理によって生まれたコスト競争力を武器に、他社には真似できない独自の価値提案を創出できます。

今こそ、原価管理を **コストセンター** から **プロフィットセンター** へと変革する時です。

導入に関するお問い合わせ

IFS Cloudの導入、または本資料で解説した内容に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
当社の専門チームが、初期ヒアリングから導入・運用まで、貴社の状況に合わせて強力にサポートいたします。

NEXT STEPS

お問い合わせから導入までの流れ

01

お問い合わせ

フォーム・メール・電話にて
お気軽にご連絡ください

02

初期ヒアリング

貴社の課題・現状を伺い
最適な進め方をご提案

03

デモ・PoC

実際の画面や効果を体感
スモールスタートも可能

04

導入・運用サポート

導入後の運用まで
専門チームが伴走します



01 EMAIL

メールでのお問い合わせ

詳細なご質問や資料請求はメールをご利用ください

sales_japan@alphast.com



02 WEB

ウェブサイト

製品情報や導入事例もご覧いただけます

<https://www.alphast.com>

今すぐお問い合わせ →